

肝臓通信

発行 田中内科クリニック

Vo l.11

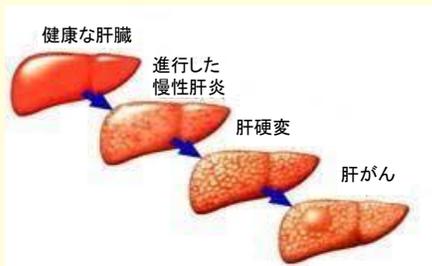
H30年 冬号



C型肝炎ウイルスが引き起こすC型肝炎、治療方法は、ウイルスのタイプ、これまでの治療によって異なり、治療が難しい患者さんもいました。C型肝炎の治療は、体内からウイルスを排除する「抗ウイルス療法」を行います。現在、次々と新薬が開発され、様々な患者さんに対して治療選択の幅が広がりました。今、C型肝炎は体に負担のない飲み薬で、生活を変えずに治す時代です！

C型肝炎について

C型肝炎は肝がんの原因になります



C型肝炎とは、C型肝炎ウイルスが肝臓に感染し炎症を起こす病気です。C型肝炎は、いずれ「肝硬変」や「肝がん」へ進行する可能性があります。

肝がんの原因の65%はC型肝炎です。

日本では年間3万人が肝がんで亡くなっており、癌による死亡数でも上位に入っています。

自然に治ることはほとんどなく、気付かない間に病気は進行します

C型肝炎ウイルスに感染した人の約70%は慢性肝炎に進行し、進行すると、自然に治ることはほとんどありません。慢性肝炎に進行しても自覚症状は少なく、気付かない間にゆっくりと肝臓の線維化が進み、肝硬変や肝がんへと進行する可能性があります。なお、肝がんの発症率は、肝臓の線維化が進むほど高くなります。

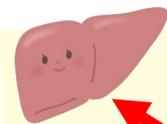
抗ウイルス療法について



現在第三代と言われる抗ウイルス薬は、最短2カ月の内服でウイルス排除成功率ほぼ100%という高い完治率です。副作用など患者さんへの負担も少なく、入院せずに日常生活を送りながら治療が続けられるメリットもあります。しかし、飲み忘れなど内服が中断されると治療に失敗する恐れもあります。決して安価ではない薬ですので、しっかり治すことを理解して治療に臨まなければなりません。

治療後の定期検査

C型肝炎の治療に成功してウイルスが体内から消失したとしても定期的な肝臓のチェックは欠かせません。治療によって肝がんの発生率は低下しますがゼロになるわけではないからです。 **超音波検査(エコー)や血液検査**



監視中！



医療費助成制度について

C型肝炎の治療は非常に高額であるため患者さんの医療費負担を軽減するために、国と都道府県が行っている公的な助成制度です。

自己負担の上限額(月額)が1~2万円となります。申請から交付までには1~3カ月程度かかります。

治療を受けた患者さんの声

- 身体が楽になった。
- なんとなくあっただるさがなくなった。
- 食欲が増えて美味しい、食べ過ぎてしまう。
- 頭の中がすっきりしてきた。

ウイルスを減らす段階から上記のように体の調子が良くなるのを実感されるようでした。それだけ肝臓の身体への影響が大きいことを示していますね。

*** C型肝炎治療のゴールは、肝機能を正常化し、肝硬変への進展や肝がんの発生を阻止することです！**